

東北民放クラブだより

新春囲碁交流会始末

関口 昌弘 (TBC)

新春といっても立春前の1月下旬、囲碁同好会恒例の交流会が湯煙りの郷秋保温泉で開かれ、寒さの中13人の参加がありました。

同好会では月例会のほか、数年前から地元紙、河北新報OBの会員との交流戦をしております。今回も参加してもらいました。

組合せは抽選で、対戦は四局。

昼食もそこに午後1時から始まった熱戦は夕食の予定時間も越え、最終局では早々と戦いを終えた「岡っ八?」が「口を出す」の禁じ手を寸止めする? 「岡目垣」が出来上がりました。



漸く始まった懇親会。乾杯も優勝者挨拶も手短にして、早速寡黙

新春囲碁交流会

な「箸を友」に…取敢えずの一息…そして湯上りの一局と、深更まで和気藹々の窓の外には、春の雪が降り始めていました。この秋には全国大会を東北で開くことになっていきます。これから準備に取り掛かりますが、会員の皆様よろしくお願い致します。

麻雀同好会だより

大山 敦司 (TBC)

当クラブ麻雀同好会は現在会員26名で年2回(7月・11月)大会を開催している。昭和40年代には街中にたくさん雀荘があったが平成に入り年々減ってきた。囲碁、将棋と同じく麻雀は現在、昔の紳士、淑女に静かなブームになっている。麻雀は34種類と136枚の牌が織り成す組み合わせの勝負である。勝負は運7分、技3分で初心者の方でも勝てるのが面白い。認知症予防の健康マージャンは、全国に広がりがつつある。大企業もスポンサーになり支援するようになった(電通・博報堂・コナミ等)。

麻雀は指先を動かし、脳を活性化させることで介護予防につなげ

るのが狙い。〃タバコを吸わない〃酒を飲まない〃金を賭けない〃が「3ない麻雀」の原則である。

麻雀大会会場は和気藹々とした雰囲気に包まれているので皆さんも認知症予防のために各クラブの麻雀同好会に入会しませんか!



勝負!勝負!麻雀同好会

秋は宮城を離れて・ゴルフ同好会

伊藤 征雄 (TBC)

当クラブのゴルフ会は年二回。春は総会翌日で、ゴルフ場もスタート時から同じコースで開催していますが、秋の会場はさまざま。しかし、会員の本ほとんどが宮城県に在るので、どうしても県内開催となってしまう。そんな中で昨年会員から秋は「宮城県以外で」

という声上がり、福島県に遠征しました。



さあ、やるぞ!全員集合

ゴルフ場は、安達太良山の裾野に広がる「大玉CC」。クラブハウスは温泉ホテル。参加者はいずれも宮城県からの11名。地元からの参加者がいなかったのは一寸寂しい感じはしましたが。温泉で寛ぎ、夜は「お天気まつり」と一杯。何より嬉しかったのは料金。一泊三食付きで1万5千円也。肝心のゴルフは、一番気になっていた空模様は、風も無く絶好のゴルフ日和。みんなが好プレーとはゆきませんでした。が、福島の高原の秋を十分楽しみ、疲れた体に鞭打ちながら宮城に向かって、東北道を北上しました。